

「新しい東北」官民連携推進協議会

**令和6年度
意見交換会(第2回)**

岩手県

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

2024年10月10日

● 第1回意見交換会からの調整状況報告

◆ 第1回意見交換会でいただいた意見を踏まえ、企画内容の調整を実施。

『岩手さんりくを探求！「YOUTH特派員」』

<ご意見>

- ・宿泊を伴う場合、高校生の参加に対する対応に懸念があり、行程の見直しが必要ではないか
- ・広く募集をかけるより、特定の学校に活動の一環として取り組んでもらうほうが良い
- ・多くの高校生に参加してもらいたいが、映像製作に興味を持つ部活動に対してアプローチするのが良い
- ・「新しい東北」公式YouTubeチャンネルでの公開だけでは、展開として不十分ではないか



◆ 高校生の参加に対する行程 ● 実施行程の再検証

- ・盛岡駅周辺施設を拠点として、取材対象となる3エリアへの移動、各地での取材行程を検証。行程の組み方で、日帰り実施も可能であり、最終の行程調整で日帰り・宿泊を決定。

◆ 参加対象へのアプローチ ● 参加者募集方法の調整

- ・事務局で放送関連の活動を行う高校を調査、岩手県に調整いただき、個別に参加打診を実施。
- ・打診校へは顧問教諭等の同行対応も依頼し、宿泊を伴う行程も可能とした調整を実施。

◆ 映像のアウトプット ● アウトプット展開の調整

- ・副代表団体の皆様からも映像活用についてアイデアをいただき、アウトプットの拡大を検討・調整。
- ・岩手県からは、岩手県公式YouTubeチャンネルでの公開についてのご提案をいただき済み。

● 第1回意見交換会からの調整状況報告

◆第1回意見交換会でいただいた意見を踏まえ、企画内容の調整を実施。

招待状作成ワークショップ

＜ご意見＞

- ・大学生は、県外からの方のほうが多いため、県内で生まれ育った高校生に参加してもらうのが良い
- ・岩手県で生まれ育った人たち、震災前から沿岸部で生活している方に参加してもらうのが良い



◆参加対象へのアプローチ ●参加者募集方法の変更

- ・岩手県内教育委員会のWEB掲示板に参加募集を掲出、県内高校へ取組をアピールしつつ参加募集。
- ・いわて若者カフェの連携団体メーリングリストにて、参加募集を展開。

＜第1回意見交換会でのご提案時＞

【目的】

内陸の高校生・大学生が沿岸部を学び、取材を通して魅力を発信する

【開催時期】

2024年12月中旬～2025年1月中旬開催想定
(1泊2日の開催)

【開催場所】

いわて若者カフェを拠点と想定

【参加者】

- ・YOUTH特派員メンバー：高校生・大学生 8名
- ・プロの映像ディレクター：1名
- ・ディレクターアシスタント：1名

【製作動画のアウトプット】

- ・「新しい東北」公式YouTubeチャンネル

＜調整後＞

【目的】

岩手県立高校の学生による、沿岸部の魅力発信
※盛岡第一高等学校・盛岡第三高等学校

【開催時期】

参加者のスケジュール要望と調整

※現状候補も2024年12月中旬～2025年1月中旬
(2日間開催 ※宿泊の有無は今後調整)

【開催場所】

盛岡駅近隣施設を拠点を想定

【参加者】

- ・YOUTH特派員メンバー：**県内学生 10～11名**
盛岡第一高等学校 学生 (6～7名で調整中)
盛岡第三高等学校 学生 (3名決定)
- ・プロの映像ディレクター：1名
- ・ディレクターアシスタント：1名

【製作動画のアウトプット】

- ・「新しい東北」公式YouTubeチャンネル
- ・その他での活用 (※本意見交換会にて打診)

◆ 行程ルート検証



＜3エリア3箇所取材の検証＞

2日目の帰りが少し遅くなるが、事後ミーティング時間が十分に確保可能。

■ 取材ルート検証サンプル①

3エリア3箇所（久慈・釜石・大船渡）

＜1日目＞

8:00 盛岡駅周辺施設集合～出発準備
9:00 盛岡→久慈エリア（2H）
11:00 久慈エリア取材（3H※昼食含む）
14:00 久慈エリア→盛岡（2H）
16:00 ミーティング（2H）
18:00 終了～解散

＜2日目＞

8:00 盛岡駅周辺施設集合～出発準備
9:00 盛岡→釜石エリア（2H）
11:00 釜石エリア取材（3H※昼食含む）
14:00 釜石→大船渡エリア（1H）
15:00 大船渡エリア取材（2H30m）
17:30 大船渡エリア→盛岡（2H）
19:30 ミーティング（1H30m）
21:00 終了～解散

＜3エリア5箇所取材の検証＞

両日の帰りが遅くなり、事後ミーティング時間が1時間程度となる。

■ 取材ルート検証サンプル②

3エリア5箇所（久慈・宮古・釜石・陸前高田・大船渡）

＜1日目＞

8:00 盛岡駅周辺施設集合～出発準備
9:00 盛岡→久慈エリア（2H）
11:00 久慈エリア取材（3H※昼食含む）
14:00 久慈エリア→宮古エリア移動（1H30m）
15:30 宮古エリア取材（3H）
18:30 宮古エリア→盛岡（1H30m）
20:00 ミーティング（1H）
21:00 終了～解散

＜2日目＞

8:00 盛岡駅周辺施設集合～出発準備
9:00 盛岡→陸前高田エリア（2H）
11:00 陸前高田・大船渡エリア取材（4H※昼食含む）
15:00 大船渡→釜石エリア（45m）
15:45 釜石エリア取材（2H）
17:45 釜石エリア→盛岡（2H）
19:45 ミーティング（1H）
20:45 終了～解散

＜第1回意見交換会でのご提案時＞

【目的】
取材プログラム（テーマ・候補）の検討

【開催時期】
2024年11月上旬～11月下旬開催想定（1日開催）
※事前ミーティング前にオンライン説明会を実施
（参加者のスケジュール要望と調整）

【開催場所】
いわて若者カフェを想定

【実施内容】
①参加者による取材対象・取材テーマの設定
※取材エリア想定①久慈エリア②宮古・釜石エリア③大船渡・
陸前高田エリア
②岩手県の観光及び復興についての理解向上
※ゲストスピーカー

【参加者】
・YOUTH特派員メンバー：高校生・大学生 8名
・プロの映像ディレクター：1名
・ディレクターアシスタント：1名
・ゲストスピーカー：1名
※震災被害・復興過程・観光状況をお話いただける方

＜調整後＞

【目的】
事務局、副代表団体の推薦から取材対象を精査・決定

【開催時期】
参加者のスケジュール要望により調整
※現状候補 2024年10月下旬～11月下旬（1日開催）
（事前ミーティングまでにオンライン説明会実施を予定）

【開催場所】
盛岡駅近隣施設を拠点に設定

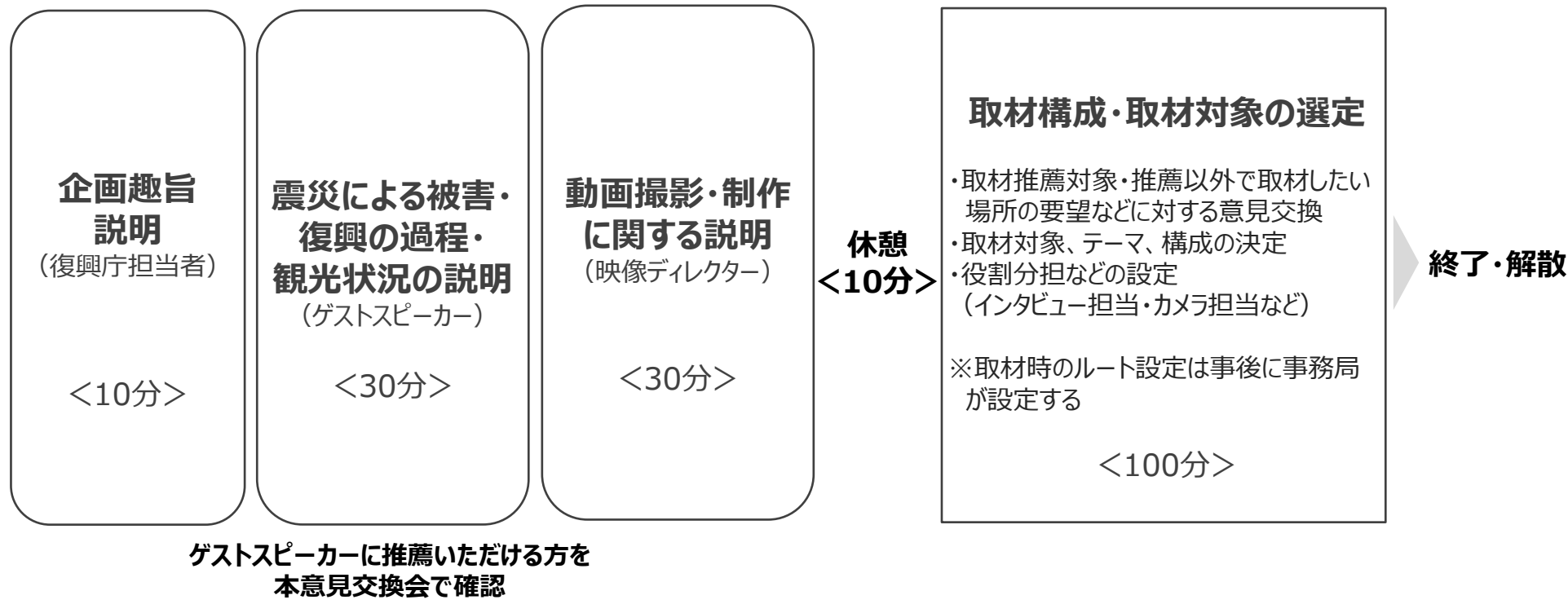
【実施内容】
①取材対象を事務局、副代表団体の推薦から精査・決定
※参加者からの取材要望・意見も反映して決定
※久慈エリア、宮古・釜石エリア、大船渡・陸前高田の3エリア
を想定して検討
②岩手県の観光及び復興についての理解向上のため、震災
被害・復興過程・観光状況をお話いただける方の講話
（ゲストスピーカーに関し、本意見交換会で確認）

【参加者】
・YOUTH特派員メンバー：県内学生 10～11名
盛岡第一高等学校 学生（6～7名で調整中）
盛岡第三高等学校 学生（3名決定）
・プロの映像ディレクター：1名
・ディレクターアシスタント：1名
・ゲストスピーカー

◆当日スケジュール案

開催日程と時間は、参加者要望に合わせて調整を実施。
実施内容は下記をベースに構成。

■ 進行イメージ（3時間程度を想定）



◆『岩手さんりくを探索！「YOUTH特派員」』取材対象候補イメージ①

各エリアの取材対象にテーマ性を持たせた取材構成とします。

※下記イメージの場所や対象者は、現時点で未調整の内容となります

＜久慈エリア＞
テーマ：未来への希望

◆小袖海女センター

東日本大震災で被災し、平成27年リニューアル「北限の海女」で知られる観光拠点を取材する。

◆小袖海女センターの海女さん

海女さんから、地元久慈エリアの魅力や未来についてお話いただく。

＜宮古エリア＞
テーマ：防災

◆たろう観光ホテル

（田老の学ぶ防災ガイド）

津波遺構のたろうホテルを拠点に、被災時の状況や防災について取材する。

◆防災ガイドさん

田老学ぶ防災ガイドを担当するガイドさんから、地震の被災経験・防災についてお話いただく。

＜釜石エリア＞
テーマ：新しい産業

◆釜石はまゆりサクラマス洋養殖場

世界初のASC認証を取得し、新しいサステナブル・シーフードを養殖する現場を取材する。

◆生産者の方

はまゆりサクラマスの研究・養殖に携わった方から釜石から世界初となったASC認証商品を生み出した経緯などをお話をいただく。

＜大船渡エリア＞
テーマ：地域の魅力

◆三陸鉄道リアス線「恋し浜駅」

若者に人気がある「恋愛パワースポット」に焦点を当て、貝殻絵馬や周辺エリアを取材する。

◆大船渡に移住されてきた方

大船渡との出会いや移住に至るまでの経緯、今の大船渡に対する気持ちなどをお話いただく。

＜陸前高田エリア＞
テーマ：復興

◆高田松原津波復興祈念公園

犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と復興への意思として整備された公園を取材する。

◆陸前高田市観光物産協会の方

観光物産協会の方から、陸前高田の復興と魅力についてお話いただく

＜釜石エリア＞
テーマ：復興

◆蓬萊島

赤い灯台と弁天社が特徴的な、大槌湾に浮かぶ小さな島。被災時の状況や周辺の再建について取材する。

◆復興プロジェクト関係者

被災した蓬萊島の状況や、再建に向けた取組、復活した時の想いなどをお話いただく。

◆大槌沿岸センター関係者

震災前後の海洋生態系の影響についてなどの研究内容をお話いただく

＜釜石エリア＞
テーマ：新しい産業

◆藤勇醸造

被災を契機に、発酵技術をベースとした新たな商品開発への取組について取材する。

◆藤勇醸造の方

被災時の様子や、スキンケア商品などの新しいモノづくりに突き動かされた想いをお話いただく。

＜久慈エリア＞
テーマ：地域の魅力

◆NANAMARUNI COFFE

居心地がよく、メニューの全てが美味しいと話題になるカフェ。日常のカフェの様子と周辺エリアを取材する。

◆NANAMARUNI COFFEの方

カフェを拠点に久慈を訪れる方を増やしたいと精力的に活動する想いをお話いただく。

◆『岩手さんりくを探索！「YOUTH特派員」』 取材対象候補イメージ②

※下記イメージの場所や対象者は、現時点で未調整の内容となります

＜宮古エリア＞
テーマ：未来への希望

◆ゲストハウス3710

宿泊客以外にも多くの人々が集まり、地域のコミュニティスペースの役割も担うゲストハウスを取材する。

◆運営会社 日々旅の方

新しい宮古エリアを創造するまちづくりに対する想い、これからの展望についてお話をいただく。

＜宮古エリア＞
テーマ：復興

◆かけあしの会

復興プロジェクトとして設立され、三陸の海産物、特産品の製造や取り扱いを行う。。宮古の恵みを牛乳瓶に詰めた「瓶ドン」が大人気の企業を取材する

◆かけあしの会の方

復興プロジェクトしてスタートし、現在に至るまでの道のりや、復興に対するこれからの想いをお話いただく。

＜大船渡エリア＞
テーマ：地域の魅力

◆FMねまらいん

震災後に臨時再開放送局として開局し、後にコミュニティFM局となった放送局を取材する。

◆FMねまらいんの方

パーソナリティーを務める地元の方や、スタッフとして関わる方から、放送で話題になるような出来事や、大船渡エリアの魅力を教えていただく。

＜陸前高田エリア＞
テーマ：地域の魅力

◆トナリノ

震災後の緊急支援団体として設立。現在は地域の相棒として住民の困り事解決に尽力する専門家集団を取材する。

◆トナリノの方

市民向けの講座や事業コンサルまで対応。幅広く陸前高田の困りごとに向き合う中で感じる、地域の魅力についてお話いただく。

＜第1回意見交換会でのご提案時＞

【タイトル】
・メインタイトル「TOHOKU MOMENT」

【開催時期】
2024年10月～12月開催想定

【参加者】
20名程度を想定

【開催場所】
盛岡市内施設想定

【実施内容】
1回目：候補地の洗い出し・紹介企業や人物のイメージ設定
担当分け
2回目：候補地・企業・人物の決定・文字構成案・ページ
ネーション構成
3回目：文字構成・最終調整(不足情報は別途取材想定)

【イベント開催時期】
2025年1月中旬～2025年2月上旬の開催想定

＜調整後＞

【タイトル】
・メインタイトルに加え、岩手県の招待状として印象付ける
サブタイトルを設定

【開催時期】
参加者のスケジュール要望で調整
※2024年10月～12月開催想定

【参加者】
10名程度（予定）
・岩手県内教育委員会のWEB掲示板に参加募集を掲出
・いわて若者カフェの連携団体メーリングリストにて展開
※現状、平舘高等学校（1名）、盛岡第三高等学校（1
名）参加申し込みあり、盛岡第一高等学校・不来方高等
学校にも個別打診を実施中。

【開催場所】
盛岡駅近隣施設、オンライン併催予定

【実施内容】
サブタイトルと表紙の構成を追加

【イベント開催時期】
3県の実施スケジュールを考慮し
2025年2月中旬～2025年2月下旬の開催想定とする

岩手県では、県内の高校生による招待状作成ワークショップを開催し、
高校生達の岩手愛が詰まった特別な招待状の完成を目指します。



昨年の招待状「TOHOKU WALTZ&INVITATION」
(宮城県松島高等学校観光科作成)

＜参加募集について＞

岩手県は、文化芸術の進行に積極的に取り組んでおり、
県立高校においても様々な文化部活動が盛んです。
そのため、県立高校へ参加依頼を行い岩手県の魅力を
表現する招待状の完成を目指しています。

写真・デザイン・震災復興・国際交流に興味を持つ高校生
に参加いただくため、県内高校に個別の声がけも行っています。

＜個別声がけ済み高校＞

- ・盛岡第一高等学校
- ・盛岡第三高等学校
- ・不来方高等学校

＜参加申し込み者＞

- ・盛岡第三高等学校（1名）
- ・平舘高等学校（1名）

写真に興味を持つ学生

- ・魅力的な写真の選定
- ・自らが写真を撮影

デザインに興味を持つ学生

- ・誌面デザインやレイアウト構成
- ・メッセージのライティング

国際交流に興味を持つ学生

- ・インバウンドへの訴求ポイント
- ・インバウンドの人気がある場所

震災復興に興味を持つ学生

- ・活気が戻った様子の紹介
- ・新しい産業の紹介

参加者の様々な視点を活かし、岩手県の魅力をアピールします。

＜主な進行スケジュール＞

- ・ 1回目（10月下旬～11月初旬）：候補地の洗い出し・紹介企業や人物のイメージ設定・担当分け
- ・ 2回目（11月下旬）：候補地・企業・人物の決定・文字構成案・ページネーション構成
- ・ 3回目（12月中旬）：文字構成・最終調整（不足情報は別途取材想定）

※最終構成完了の期日は12月20日を想定

■ 候補日程は下記内容にて調整中

- ＜1回目候補日程＞
- ・10月29日（火） 16:30－18:30
 - ・10月30日（水） 16:30－18:30
 - ・11月 2日（土） 17:00－19:00
- ＜2回目候補日程＞
- ・11月19日（火） 16:30－18:30
 - ・11月20日（水） 16:30－18:30
 - ・11月23日（土） 17:00－19:00
- ＜3回目候補日程＞
- ・12月10日（火） 16:30－18:30
 - ・12月11日（水） 16:30－18:30
 - ・12月14日（土） 17:00－19:00

以降、事務局による最終調整

＜事務局による作業＞

- ・ 2025年1月：入稿データ調整・翻訳・イベント用パネルデータ作成
- ・ 2025年2月：入稿データ最終調整・翻訳版入稿データ作成
- ・ 2025年3月：日本語版・英語版 PDF版、冊子版納品

＜大阪・関西万博 会場での活用＞

2025年5月19日～24日 復興庁の出展期間中に会場で配布など

※活用の手法に関しては、現在検討中のため、追って情報共有させていただきます。

◆ 招待状作成ワークショップ【大阪・関西万博 復興ポータルサイトとの連携】

【WS開催状況の報告掲載】 ワークショップ開催の様子を掲載します。（取材等はなく、現地で写真を撮影して紹介します）

【ネット投票の実施】 リアルでの投票に合わせて、ポータルサイト内でも人気投票を実施します。

【完成データの公表】 完成した招待状の冊子を専用ページで公表し、閲覧・ダウンロードできるようにします。

【万博会場での活用】 完成した冊子やデータを復興庁出展期間（2025年5月19日～24日）で活用します。

※活用の手法に関しては、現在検討中のため、追って情報共有させていただきます。

＜実施検討中の内容＞

【100日前イベントへの参加者の登壇】復興庁出展の100日前前後に、福島、宮城、岩手の3県でイベントを実施予定です。

※イベントステージにて、参加者に登壇、招待状の紹介を調整中です。

＜議題①＞

実践の場『岩手さんりくを探究！「YOUTH特派員」』・ 招待状作成ワークショップの修正内容について

副代表団体のみなさまから、取組に関するご意見ご要望を
お聞かせいただければと思います。

＜議題②＞

来年度の「実践の場」取り組みの進め方に関して

- 実践の場の内容について
- 全体のスケジュール感・進め方について
- 副代表団体と事務局との連携について
- その他ご意見